

## 研究結果報告書

十五年戦争下の日本文学と山東省：黒島伝治・棟田博・大田洋子の諸作品を手がかりに

所属：山東師範大学 外国語学院 日本語学科

役職：教授

氏名：李 光貞

山東省は日本に近いし、歴史上から見れば、交流が深いと思われる。山東省と日本近代文学との関係は深く、かなり研究価値を有するものである。研究成果は下記のとおりである。

1. 資料収集と現地調査。まずは山東省図書館や関西大学の図書館を利用して、関連資料を収集した。同時に、ネットや古本屋を使って、関連本を買った。それから、本研究は『武装セル市街』『真昼の情熱』『台児荘』という三冊の小説を研究対象にするので、舞台として小説で描かれた済南・青島・棗荘をめぐる、現地調査を行った。現在の町様子を小説に描写された様子を対比しながら、地名・建物など残った遺跡がたくさんあり、考察した。本研究に大いに役立った。

2. 現地調査を行った結果として判明した事項。済南では『武装セル市街』に書いてある工場はもう姿を消してしまい、町の様子も大きく変わった。泉が相変わらず流れて、昔の名残を伝えている。青島では作品に出てきた地名に沿って、東海飯店まであり、別名前になったが、中の様子が大体小説の描写と同じで、変わったのは、以前、ダンス場で、現在食事処となっている。作品に出てきた銀行などは現在遺跡として保存された場所もある。棗荘にある台児荘は現在戦争の遺跡がたくさんあり、弾孔の跡が見られる。現在は観光地になって、賑やかで、平和が一番大事なことだと感じられる。

3. シンポジウム。本研究によって書いた論文を携え、台湾東呉大学・同済大学などで行われるシンポジウムに参加した。ほかの研究者に質問したり、質問されたりして、多くの参考意見を聞いた。それに、研究者を集め、山東師範大学で「第二屆山東与日本文学国际学术研讨会（第二回山東と日本文学）」のシンポジウムを主催し、早稲田大学・筑波大学の専門家をお招き、中日両国の研究者が交流し、山東と日本文学との関係は深いと一致合意したのである。本研究に大いに役立った。

4. 講演会。本研究は主に地域文学領域での研究で、交流価値が高い。天津外国語大学・青島大学・安徽三聯学院に招聘され、関連講義を持った。

5. 雑誌に掲載された論文。本研究を踏まえて書いた論文を投稿し、雑誌に掲載されたのである。

6. 今後の課題。現在のところ、論文である「記号学視角から見る『武装セル市街』における人物像」を韓国の全南大学学報に投稿中である。そして、黒島伝治の「文学理論」を3万字ぐらい翻訳した。また、院生と一緒に「台児荘」の翻訳がもうおわり、今後機会があれば、出版したい。また、「山東と日本近代の文学関係」（暫定）という本を書きたく、現在10万字ぐらい書き、今後、20万字ぐらいまで書き、出版するつもりである。

研究成果の公表について

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

1. 「一滴有威力的水足以创作一个世界并驱散黑暗—『武装せる市街』を読む」・李光貞・汪启疆与中外海洋文学研讨会・2016-05-01・台湾東呉大学(台北)
2. 「『武装的街巷』中的人物形象分析」・李光貞・日语教育与日本学研究国际研讨会・2016-05-14・同济大学(上海)
3. 「日本近代文学中山东记忆的历史透视」・李光貞・第二届山东与日本文学国际学术研讨会・2017.03.18・山東師範大学(済南)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

1. 中日两国黑岛传治反战文学研究述评・李光貞・山东师范大学学报(人文社会科学版)・2017年第4期P38-51
2. novel of evil : another interpretation of armed alley ・李光貞・黎活仁 (Guang zhen li・Huoren li) ・Proceedings of the 2016 3 nd International Conference on Education, Language, Art and Intercultural Communication (ICELAIC 2016 )Advances in social sciernce, Education and humanities Reseaich, volume 40 Xiamen china 2-4, december 2016
3. 記号学視角から見る『武装セル市街』における人物像」・李光貞・韓国全南大学学報投稿中。2018年第1期に掲載される予定。

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)